

1. 研究課題名

胎盤における絨毛血管腫症の遺伝子異常の検討

2. 研究対象

当院および東北大学病院病理部で診断された胎盤における絨毛血管腫症 2 例、当院で診断された品胎の絨毛血管腫症 1 例のパラフィン組織を用います。

3. 研究期間

倫理審査終了後～遺伝子解析終了までの期間です。

4. 研究目的

胎盤の絨毛血管腫症は胎児の発育、先天異常などに影響を与える可能性が高く、本症は先天性心奇形や Beckwith-Wiedemann 症候群の合併を起こすことがあり、遺伝子異常の関与が疑われます。胎盤は胎児由来の臓器であるため、本症の胎盤組織における遺伝子異常の検討は胎児に遺伝子異常があるかを知る上で重要です。当院では 3 児中 2 児の胎盤および品胎の内 1 児に対応する胎盤に本症を見る稀な症例を経験しました。これらの症例の胎盤組織における遺伝子異常の有無を検討することが目的です。

5. 研究方法

対象症例の病理組織パラフィン標本を用い、OncoScan CNV Plus Assay による疾患関連遺伝子のゲノムワイド関連解析を行います。本研究で使用するゲノムワイド関連解析は遺伝統計学における解析のひとつで、遺伝子を特定せずに single nucleotide polymorphism (SNP) の多型解析を全ゲノム上に適応し網羅的遺伝子解析を行う手法です。岩手医科大学病理学教室に遺伝子異常の解析を依頼し、異常の有無を検索します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類およびその取得方法

当院および東北大学病院の病理診断科が検査依頼を受けた胎盤の中で絨毛血管腫症と診断された症例の組織パラフィンブロックを使用します。

7. 外部への試料・情報の提供

遺伝子異常の検査は岩手医科大学病理学教室に試料を提供して、解析を依頼します。

8. 試料・情報を利用する者の範囲・研究組織

東北大学病院病理部、岩手医科大学病理学教室

9. 問い合わせ先

本研究に関する質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障のない範囲で、研究計画書および関連する資料の閲覧が可能となっております。ご希望の方はお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

住所：982-8501 仙台市太白区八木山本町 2-43-3

電話番号：022-243-1111

研究責任者：仙台赤十字病院 病理診断科 嘱託医師 長沼 廣